



ソフトバンク フェスティバル

古谷ファンと交流

パレードにも参加 「改めてプロ実感」

【福岡】プロ野球の福岡ソフトバンクホークスは26日、福岡市内で優勝祝賀パレード（同実行委主催）とファンフェスティバル2017（球団主催）を行った。幕別町出身で江陵高出の古谷優人投手（18）も、集まった大勢のファンと共に2年ぶり8度目（ソフトバンクとして4度目）の日本一を喜び合い、交流した。

同日午前11時にスタート

ファンフェスティバルで子どもたちとハイタッチを交わす古谷優人投手

したパレードには過去最高の約36万人（主催者発表）のファンが駆け付けた。福岡市中心部の通り約2・3キロを車両規制し、オープンカーやオープントップバスに乗った監督、選手らが約30分間かけてゆつくりとしたパレード。古谷投手は左腕エースの和田毅投手らと共に、オープントップバスの上から沿道の両側を埋め尽くしファンたちの声援に応えて手を振った。

一行はその後、福岡ヤフ

オクドームに移動し、同日午後1時からのファンフェスティバルに出演。3万3442人（同）のファンを前に工藤公康監督ら選手全員がステージ上から今季の日本一奪還を報告した。古谷投手は他の選手と一緒ハイタッチコーナーに登場し、ファンとタッチを交わした。古谷投手は「パレードとファンフェスで大勢のファンに囲まれて、改めてプロになった喜びを実感した」と話していた。

（内形勝也、新井拓海）